

10日間の 祈り

『だから あなたが祈るときは』

【4日目 答えられない祈り】

【テーマ聖句】

「主に望みをおく人は新たな力を得 鷲のように翼を張って上る。」
(イザヤ書 40 章 31 節)

2025年1月11日(土)

待つこと

待つというのは楽しいことではありません。そもそも待つことが好きな人なんているのでしょうか？病院の待合室で待たされたり、列に並ばなければならなくなったり、あるいは飛行機が遅れて空港で足止めされたり、遅刻した人を待たなければならないケースだってありますね。

アブラハムは、祈りの答えを受け取るのに 25 年間も待たなければなりません。またモーセは、神様が最終的に介入してくださるまで 40 年間待ち続けました。ヨセフは長い間奴隷生活を余儀なくされ、その後数年間は牢屋に投獄されて過ごしたのです！他にも、聖書の中には神様の助けを待ち続けた人々がたくさん登場します。

待つことをとおして私たちの忍耐は試されますが、聖書には、神の民の特徴のひとつが忍耐であると書かれています。祈りにおいても同じです。実際に私たちは、祈りの答えを待たなければならない場合が多いのです。「真心からの祈りには応答があります。それは願った通りに、あるいは期待したその時に、答えられないかもしれませんが、私たちの必要に最も良く適した方法で、最も良い時期に答えられます。孤独の中に疲れ果て、試みの中にあってささげられる祈りに、神は答えてくださいます。」(『希望への光〜クリスチャン生活編』 466 ページ、『若い人たちへのメッセージ』 78 祈りの力)

私たちがへりくだって、神様に全面的に信頼していることを認め、明確かつ具体的に必要を申し上げる時に神様はそれに答えてくださいます。しかしそれでも多くの場合、私たちは待たなければなりません。さらに私たちは神様が介入されるまでの間に、自分のリソースや選択肢を使い果たしてしまうことが多いのです。もし神様が祈りに即座に答えてくださったとしたら、私たちは祈りの結果を自分の手柄にしてしまうことだってあるかもしれません。

私たちが問題の解決手段を見いだせないときに、神様は次のように言われます。「わたしを呼べ。わたしはあなたに答え、あなたの知らない隠された大いなることを告げ知らせる。」(エレミヤ 33:3)

もし願ったとおりの方法で神様が答えてくださらなかったとしたら、私たちは祈りが聞かれなかったと考えてしまうかもしれません。しかし神様は、正直で謙虚な祈りに必ず答えてくださいます。

私たちは神様の愛を知るために召されています。(エフェソ 3:19) それだけで十分なのです。神様のことを知れば知るほど、信頼すればするほど、平安を受ければ受けるほど、私たちは喜んで神様の導きを「待つ」ようになります。主の限りない愛や約束、また過去の試練において、神様がどのように人々を導いて来られたかに目を向けましょう。「堅固な思いを、あなたは平和に守られる あなたに信頼するゆえに、平和に。」(イザヤ 26:3)

神様は未来をすべてご存知です。主は、私を気にかけてくださると同様に、他の人のことも気にかけておられます。—神様が最善の答えを持っておられるから、今はまだそのタイミングではないから、まだあなたが神様の計画を受け入れる準備ができていないから— 様々な理由から、私たちは答えを待たなければならないことがあるかも知れませんが、神様は想像もしなかったような素晴らしい答えをお持ちかも知れないのです。また他のどんな方法でも届くことのできない人物に到達するために、神様はあなたという人間を用いられることがあります。いずれにせよ、天国にいくまで私たちには理解できないことがたくさんあるのです。

心に留めておいて欲しいことは、イエスがこの世においでになったのは、私たちが地上で快適な生活をおくるためではないということです。実際にイエスは、この世では試練があるとされました。(ヨハネ 16:33) イエスはしばしば、試練をとおして品性の成長と救いに必要な教訓を与えてくださいます。

「わたしたちの一時の軽い艱難は、比べものにならないほど重みのある永遠の栄光をもたらしてくれます。」(2 コリント 4:17)

ですから神様に問題を取り除いてもらうばかりでなく、私たちが問題から学び、成長することができるように助けていただきましょう。私たちの最大の必要は神様を知ることです。神様を知れば知るほど、神様を信頼できるようになり、神様の働きそのものを理解できるようになるのです。

主の臨在を祈り求め、計画を導いてほしいと願うようになることを主は求めておられます。早急に問題の解決や助けを求めるのではなく、第一に主を知ることが求めましょう。そして、あなたのすべての悩みを具体的に打ち明けて、神様の答えをひたすら待ち望むのです。共に祈りましょう。

祈りのグループの種類や、祈る方法はさまざまです。今から 30～45 分間、聖霊に導かれるままに、一致した祈りの時間を過ごすことをお勧めします。以下は、御言葉に基づいて祈る祈りの一例です。他の聖句を読んで祈ることもできます。祈りのアイデアについてはリーダーズガイドをご覧ください。

【神のみ言葉によって祈る】

「主に望みを置く人は新たな力を得 鷲のように翼を張って上る。

(イザヤ書 40 章 31 節)

「主を待ち望む者」

父なる神様。私たちは待つことが苦手です。待つことは私たちを不安にさせ、恐れを生じさせるからです。だから私たちは先を急ぎ、自分なりの解決策を探し出そうとしてしまいます。子どもが父親の胸に抱かれて休むように、主の平安の中で憩うことを教えてください。神様の力強い御手の中に未来があることを、信仰をとおして教えてください。私たちが目に見えるものによってではなく、信仰をとおしてあなたとつながり続けることができますように。

「新たな力によって」

主よ。ときに私たちはこの壊れた世界での生活に疲れ果ててしまいます。病気や貧困、不和や不正、そして孤独に押しつぶされそうになります。どうか私たちの目を天に向け、新しいエネルギーを注いでください。あなたが与えてくださるお約束の中に、偉大なみ力を見出せるようにしてください。私たちが弱り果てたときには、もう一度しっかりあなたと繋がることができますように助けてください。

【さらなる祈りの提案】

感謝と讃美： 与えられた祝福を具体的に感謝し、神の恵みを賛美する

告白： 数分間、個人的な告白を行い、神の赦しに感謝する

願い： 現在の課題や決断に知恵を与えてくださるようお願いする

教会のために： 私たちの教会、地域の教会、世界中の教会の働きを神が祝福してくださるよう
祈る

人々の必要のために： 教会員、家族、隣人の必要のために祈る

静かに耳を傾け、応答する： 静かに神の声に耳をかたむけ、賛美と歌で応答する時間をもつ